



## 「おなかがすいて眠れない」 ～子どもの貧困について考える～

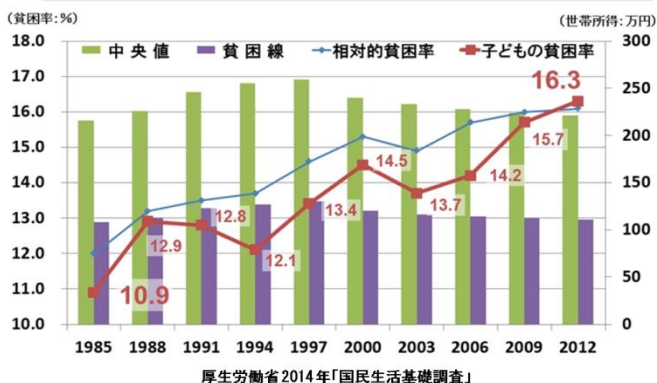
皆さんの周りには、「おなかがすいて眠れない」というような状況の子どもはいませんか。

当センターでは、毎年、家庭教育・子育て支援担当者を対象とした研修会を実施しておりますが、今年度は、この「子どもの貧困」をテーマに、岩手県立大学社会福祉学部の櫻幸恵先生を講師として開催いたしました。今回は、その研修から学んだことの一部を紹介します。

## 「6人に1人」が貧困の状態に！

厚生労働省から国民生活基礎調査の一環として公表された「子どもの相対的貧困率」は、下図の通り 2012 年度には 16.3%と過去最高でした。これは、18 歳未満の子ども達 6 人に 1 人が貧困状態にあることを示しています。この「相対的貧困」の定義は、「ある国・地域の中で平均的な生活レベルよりも著しく低い生活レベルであること」とされており、「(相対的) 貧困率とは、世帯収入から国民一人ひとりの所得を試算(\*)して順番に並べたとき、真ん中の所得(中央値)の半分(貧困線)に届かない割合」を言います。また、同調査\*...等価可処分所得(手取り収入)を世帯人員で割って調整した所得

日本の相対的貧困率と子どもの貧困率の推移



によると、ひとり親世帯に限っては、この割合が 54.3%となり、2 人に 1 人が貧困状態にあるという結果も示されました。さらに、同時期の総務省調査に基づく山形大学の研究では、子どもの貧困は 20 年間で倍増していることや岩手県は 13.9%で 7 人に 1 人が該当するというデータが新聞等で報じられました。

こうした中で講師の櫻先生は、貧困家庭の子ども達の存在が見えにくいことが課題であり、その特徴を次のように述べておられます。

### 子どもの貧困の特徴

- 子ども本人には全く責任がないにも関わらず、(親の) 貧困に由来する各種の「不利」「困難」を一方向的に被る。
- 子ども本人が貧困状態を認識したり、貧困に関する相談を主体的に行ったりすることが難しい。
- 子ども本人を調査対象者とした実態調査・ニーズ調査が極めて困難であり、貧困状態が発見されないまま放置されてしまう。
- 複合的な剥奪によって、現在だけでなく、次の世代まで各種の「不利」「困難」が継承されていく可能性が高い。

⇒マクロの貧困研究の蓄積に比べ、「子ども自身のニーズに即した福祉・教育実践」を導く理論や具体的な手順は、いまだ明確になっていない。

\*子どもの主体性に即した自由な選択の保障がなされていない。

また、櫻先生が「生活困窮世帯の子育ての状況」について実施したインタビュー調査(2015 年 5～7 月)では、次のような傾向が見られたそうです。

### 生活困窮世帯の子育ての状況

- 地域における社会的関係性が切れた中で子育てが行われている。
- 社会的関係性の欠如により、語彙数や振る舞いの学習などが制限され、子どもの社会性の獲得や社会への信頼性に影響している。
- 貧困の世代間連鎖が見られる。教育面で大きな不利である。
- 地域コミュニティとの関係性を結ぶ結節点が必要である。

貧困家庭が、地域社会の中で孤立した状態で子育てが行われていることで、子どもへの様々な弊害ももたらされていると言えそうです。

さらに、櫻先生がSSW（スクールソーシャルワーカー）として直接該当者と関わった事例から『助けて』といえないクライアント（相談者）の状況を次のようにまとめておられます。

『助けて』といえない — SSWでかかわった事例から—

- 社会資源へアクセスができないでいるクライアントの現状
- ・他者と共有できない深刻なエピソードや生育歴 → 自己開示への恐れ
  - ・社会的偏見（スティグマ）による傷つき→他者への不信感・警戒・防御
  - ・生育歴等による自己肯定感の低さ、レジリエンス（乗り越える力）の低さ  
→ 解決へのあきらめ
  - ・つながりの資源を持っていない、制度や相談窓口を知らない  
→ SOSが出せない

「貧困」が子どもに与える影響

このように、貧困状態にあっても「助けて」とSOSが出せない子ども達にどんな影響が出てくるのでしょうか。これについては次の4点に留意しなければなりません。

貧困が子どもに与える影響

- **健康な心身の発達への影響**  
⇒ 不十分な衣食住や不適切なケア、必要な医療を受けることが出来ない等によって健康な育ちが阻害される。
- **社会性や他者への信頼の低さ**  
⇒ 親の関わりの低さ・親のストレス・虐待・ネグレクト、地域や集団からの孤立、機会の剥奪等によって、他者との関係性が育めない。
- **自尊感情の低さ、乗り越える力（レジリエンス）の低さ**  
⇒ 自分自身を認められる体験や機会を剥奪された中で育ち、自分自身の能力や可能性を極めて低く評価。
- **低い学力や対応力、将来への希望の欠如**  
⇒ 適切な教育機会や学習資源・学習環境の不足、豊かな社会体験を剥奪され、学力や能力を育み活かすことができない。就労機会などのライフチャンスも制約され、貧困が連鎖していく。

こうした影響が出てくると、子どもの「自己肯定感」も当然低くなってしまいます。自己肯定感、学力やレジリエンス（乗り越える力）にも大きく影響します。櫻先生は、親の養育態度や教師との関わりに子どもの自己肯定感に関連性が強いので、良好な親子関係や良好な教師との関係は、貧困による自己肯定感の低下を緩和する要因となり、また、防御促進効果は貧困世帯の子どもほど大きく現れると述べられていました。

私たちに何が出来るのか！

こうした状況の中で私たちに出来ることとはどんなことでしょうか。櫻先生は、様々な観点から大きく4つの視点で提示してくださいました。そして、具体的な支援の事例についても7つ提示してくださいました。

私たちに何が出来るのか —メゾ・ミクロの視点から—

- ◆ **貧困の発見** → 実態の把握、ニーズの確認、アセスメント
  - ◆ **子どもへの直接的支援**  
子どもの発達過程に応じた関わり → 時機と継続性の担保  
子どもの生活圏の中に支援のしくみを設定する
    - ・健やかな成長・発達の保証 → 食事の支援等による健康の確保
    - ・学習機会の設定 → 自己肯定感、ライフチャンスの広がり・獲得
    - ・様々な社会参加の機会 → 広い視野、社会的態度やマナーの獲得、ライフチャンスの広がり・獲得
  - ・地域の中の居場所・関わる場  
→ 子どもから直接SOSをひろう、信頼できる大人との関わり、子ども同士のつながり、社会資源につながる・つなげる
  - ・専門的相談の確保  
→ 子どもが直接相談できるSSWやSC（スクールカウンセラー）などの専門職を配置し、深刻化する前に対応を図る
  - ◆ **親・家庭への支援**  
・経済的支援、就労支援、住環境の整備  
・親自身の発達過程を支援 → 相談援助、教育機会、育児教室など
  - ◆ **子どもの貧困に関わる第三者の育成・配置、ネットワーク形成**  
・行政の包括的支援窓口の設定  
・専門職の配置：SSW（社会福祉士）、SC、保育士などの配置  
・地域の子育て支援者、民生委員・児童委員などの育成支援、及びネットワーク形成
- ◇◇具体的な「支援の場」と「支援者」の養成は急務  
→ 部局横断による施策展開、地域の多様な担い手との連携



具体的な支援の事例

- 子ども食堂
- 学習支援
- 居場所事業
- フードバンク／フードドライブ
- サンデー・スクール
- ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム（NPプログラム：親支援プログラム）
- ペアレント・プロジェクト（親の学びプロジェクト）

一人ひとりができることから始める！

最近の報道によると、全小学校区に「子ども食堂」を整備する計画（兵庫県明石市）や小中学生を対象とした実態調査を行う（東京都野市）など様々な動きが見られます。本県でも盛岡市や平泉町で「子ども食堂」がオープンしました。この他にも、今回提示されたような活動も含め様々な形の支援が県内各地で取り組まれております。

しかし、子どもの貧困は私たちの見えないところで増え続けています。その解決策は、国レベルでの法整備等も重要ですが、まずは身近にいる私たちが見えにくい「子どもの貧困」を発見することがその第1歩かも知れません。子どもの発するサインをしっかりキャッチし、実態を見極め、関係者と連携しながら親も含めた支援の方法を考えていきたいものです。そして一人でも多くの子ども達が自分の存在に自信を持ち、将来に希望が持てるような地域社会を築きたいものです。

（所長 佐藤 寛）

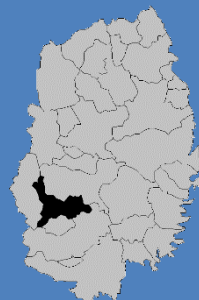




今回は、北上市まちづくり部生涯学習文化課から、特色ある事業について寄稿いただきました。

北上市は岩手県の南部にあり、約 93,000 人が暮らす、県内有数の工業都市です。新幹線や高速道路など高速交通環境にも恵まれ、企業誘致が進み、流入人口も増えています。

市では、子どもたちが調和のとれた社会人として成長していくために、子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が果たすべき役割や目標を明らかにし、施設、行事、人材など地域のさまざまな資源を生かしながら、子どもたちが学び続け、社会変化に対応できる力を育む環境を地域全体でつくっていくことを目的として、平成 25 年度に「北上市地域教育力向上基本計画」を、その翌年度に「北上市地域教育力向上行動計画」を策定し、これらに基づいて地域の教育力向上に取り組んでいます。



## きたかみ地域教育力 向上フォーラム

地域教育力向上に資する事業の一つとして、市内で取り組まれている優れた事例を共有し、理解しあう機会が大切であるとして、平成 24 年度から「きたかみ地域教育力向上フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、市民、地域や教育関係者を対象として、学校や地域、団体等が行っている優れた取り組みの紹介や講演を開催し、地域の教育力についての理解を深めています。平成 27 年度に開催した第 4 回では、自治組織、小学校、青年会議所、高等学校での取り組み事例の発表を行いました。

第 3 回までは大人のみでの事例発表でしたが、今回は、高校生たちにも参加いただき、地域教育力向上を継承する人材が確実に育成されているものと強く感じられました。

今後も地域で行われている素晴らしい取り組みを共有する場として開催し続けていきます。



地域教育力向上フォーラム

## 子どもの読書活動推進



読書のつどい 絵本クッキング

読書は、言葉を覚え、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、生きる力を身に付けていく上で大切な学びの一つであるとして、子どもの読書活動の推進にも取り組んでいます。家庭や学校、地域で子どもたちが読書に親しむ機会を積極的に提供するとともに、読書を日常の習慣とするため、大人も一緒に本を読む家庭読書週間を設定するなど、家庭読書の普及を図っています。4月23日の「子ども読書の日（文部科学省制定）」のほかに、市独自の取り組みとして10月27日から11月9日を家庭読書週間としています。

平成 27 年度からは、この期間中に家庭読書に取り組んだ状況について、市内の小学 6 年生の児童、中学 3 年生の生徒と、それぞれの保護者にアンケート調査を行うなど、現状を把握しながら取り組みを進めています。

平成 28 年 3 月に策定した「第 3 次北上市子どもの読書活動推進計画」に基づき、家庭や学校、地域などが連携して子どもの読書活動をさらに推進していきます。

# 岩手県生涯学習推進研究発表会

## ～岩手の人づくり・地域づくりフォーラム 2016～

平成29年 **2月2日(木)** 13:30～16:00

**2月3日(金)** 10:00～15:00



【講演】 [2月3日(金)午前]

### 「地方創生における教育の役割」

文部科学省初等中等教育局

幼児教育課長 **伊藤 学司 氏**



〔経歴〕 1991年早稲田大学法学部を卒業し文部省入省。大臣官房政策課企画調査係長、岩手県教育委員会事務局文化課長・学校教育課長、文部科学省生涯学習政策局社会教育課長、長野県教育長などを歴任。2016年6月より現職。

#### 【開催の趣旨】

県生涯学習審議会・県社会教育委員会が2年間にわたり「社会教育の今日的役割～絆づくりと活力あるコミュニティの形成に係る拠点づくりに向けて～」というテーマで協議してきた内容が、今年の3月に提言として示されました。人口減少や少子高齢化が進む中、地域コミュニティの再構築やその担い手の育成は、東日本大震災津波からの復興の途上にある本県にとっても最優先課題となっています。

一方、国は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方自治体においても地方創生に資する教育を実行するよう求めています。

今回の発表会では地方創生と教育の関係について学ぶとともに、本県の課題である「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」に向けた社会教育のあり方について考える機会とします。

【研究発表】 当センターの今年度の研究成果を2本発表します。

[2月2日(木)午後]

#### ●事業の効率的・効果的な評価と検証のあり方に関する実践的研究

※アンケート集計システムを活用し、受講者の変容を数値化して評価・検証する方を提案します。

#### ●市町村における教育振興運動の効果的な推進方策に関する実践的研究

※大船渡市・宮古市での実践や各市町村の取組から学んだ運動の仕組みづくりについて提案します。

【事例発表・協議】 「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」

[2月3日(金)午後]

提 言 県生涯学習審議会会長兼県社会教育委員会議長

大橋 清司 氏

コーディネーター 県立生涯学習推進センター 生涯学習参与

新妻 二男

事例発表者 久慈市総合政策部地域づくり振興課

広島県大竹市立玖波公民館

参加申込は下記HPを御覧下さい。

「岩手県立生涯学習推進センター情報」第90号 / 編集・発行 岩手県立生涯学習推進センター

〒025-0301 花巻市北湯 2-82-13 電話 0198-27-4555 FAX 0198-27-4564

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

まなびネットいわて

検索

